

パソコンバンクサービスVALUX接続用 初期設定マニュアル

2025年8月



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION

目次

1章	はじめに	p.2
	VALUX版のご利用環境	
2章	ソフトインストール	p.4
	(1) 事前準備	
	(2) ソフト導入先ドライブの選択	
	(3) ソフトのインストール	
	(4) 正常にインストールが終了しているかの確認	
	(5) パソコンの再起動	
3章	ユーザー登録方法	p.9
	(1) システム管理者IDの作成	
	(2) 一般ユーザーIDの作成	
4章	電子証明書管理	p.14
	電子証明書の新規取得・選択	
5章	操作マニュアルのダウンロード	p.18
	操作マニュアルのダウンロード	
別紙	ソフトインストール時のエラーについて	p.21

■ 1章 はじめに

本誌はパソコンバンクVALUX接続用（以降「VALUX版」という）のインストールから電子証明書取得までの流れを記載した、初期設定用のマニュアルです。

はじめに、VALUX版をご利用いただくにあたり、事前に稼働環境のご確認をお願いいたします。

なお、ご利用可能な環境は通知することなく変更する可能性があります。最新の動作環境については、当行ホームページをご確認ください。

1章 はじめに

VALUX版のご利用環境

当行ホームページに最新のご利用環境を掲載しております。詳細は以下からご確認ください。

パソコンバンクサービスVALUX接続用 → VALUX接続用ソフト（当行ソフト）のご利用環境

ご利用環境 : <https://www.smbc.co.jp/hojin/eb/valux/>

二次元コード :



The screenshot shows the top navigation bar of the SMBC website with the following items: Home, 資金の調達・運用 (dropdown), 振込・入金確認の効率化 (EBサービス) (dropdown), 電子記録債権 (てんさい) (dropdown), and 外国業務 (dropdown). Below the navigation bar is a breadcrumb trail: ホーム > EBサービス > パソコンバンクサービス (マルチバンクもこちら) > パソコンバンクサービスVALUX接続用. The main heading of the page is 'パソコンバンクサービスVALUX接続用' followed by 'VALUX接続用ソフトについて'. At the bottom of the page, there is a yellow button labeled 'VALUX接続用ソフト（当行ソフト）のご利用環境' with an upward arrow.

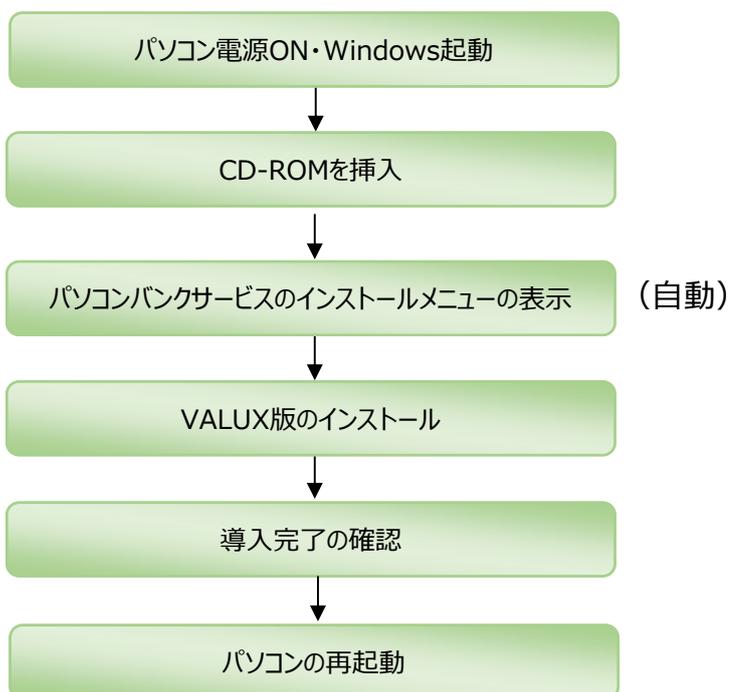
2章 ソフトインストール

VALUX版のインストール手順について説明します。事前に以下の注意事項、手順をご確認ください。

<ご注意事項>

- ・VALUX版はパソコンのハードディスク上に導入します。ネットワーク上のディスクなどには導入できません。
 - ・導入途中での中断は避けてください。不要なファイルがハードディスク上に残ることがあります。
- また、導入の途中で画面（ウィンドウ）の切り替えを行うと、導入操作画面が表示されない場合があります。この時は、導入操作画面が表示されるまで「Alt + Tab」キーにて切り替えを行ってください。
- ・導入後は必ずパソコンを再起動してください。再起動せずに使用された場合、動作が不安定になることがあります。
 - ・CD-ROMは、大切に保管してください。

<インストール手順>



2章 ソフトインストール

VALUX版のインストール

インストールを行います。以下の手順にそってご対応をお願い致します。

(1) 事前準備

CD-ROMドライブにCD-ROMをセットしてください。自動的にインストール時のご注意画面が表示されます。

※インストールが自動的に開始されない場合は、エクスプローラでCD-ROMドライブの中にあるSetupMenu.exeを実行してください。

FBWOSURL	2022/11/16 14:58	アプリケーション
Interop.ADOX.dll	2022/08/23 17:46	アプリケーション拡張
PBS_FileCopy	2022/11/11 13:58	Windows バッチ ファイル
ReMakeLink	2022/10/20 8:56	アプリケーション
SetupMenu	2022/10/04 2:18	アプリケーション
SMBC_PBS	2022/09/16 16:25	アイコン
Zengin_Install	2022/09/20 11:41	構成設定

(2) ソフト導入先ドライブの選択

①『インストールメニュー』画面から、「①ソフトのインストール」をクリックしてください。

※「AccessRuntime」、「.NetFramework」が未導入の場合、エラーメッセージが表示されます。
エラー発生時は、『【別紙】ソフトインストール時のエラーについて』を参照ください。



②インストール環境の確認メッセージが表示されます。ご利用可能な環境であることを確認の上、「OK」ボタンをクリックしてください。

※URLをクリックすることでご利用可能な環境を確認可能です。



2章 ソフトインストール

③バージョンを確認のうえ、「OK」ボタンをクリックしてください。



④ドライブを選択のうえ、「OK」ボタンをクリックしてください。



(3) ソフトのインストール

①インストールドライブを選択すると『インストールの準備中』画面が表示され、全銀ソフト導入を開始します。『インストールが完了しました。』画面が表示されたら「閉じる」ボタンをクリックしてください。



2章 ソフトインストール

②ANSERソフト導入を開始します。『セットアップウィザードへようこそ』の画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックしてください。



③『インストールの確認』の画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックしてください。

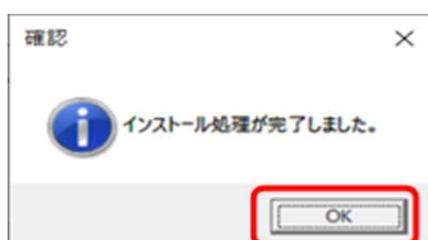


④『インストールが完了しました。』画面が表示されましたら「閉じる」ボタンをクリックしてください。



⑤ソフトの導入が完了すると「初期環境ファイルの設定」を自動的に行います。

以下確認画面が表示されましたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



2章 ソフトインストール

(4) 正常にインストールが終了しているかの確認

インストールが終了すると以下ようになります。全て完了しているかご確認ください。

- ・導入時に指定したドライブに[SMBC_VALUX]フォルダが作成されます。
- ・Windowsのスタートボタンのプログラムメニューに「SMBCパソコンバンクサービスVALUX接続用」のグループアイコン（以下）が作成されます。



(5) パソコンの再起動

CD-ROMを取り出し、パソコンを再起動してください。

(パソコンを再起動せずにご利用すると動作が不安定になる場合があります。)

3章 ユーザー登録方法

VALUX版ではインターネットに接続した通信となるため、セキュリティ強化の観点から、ユーザー管理機能を有効化し、システム管理者と一般ユーザーを設定していただく必要があります。

●システム管理者とは …

一般ユーザー（通常のサービス进行操作するユーザー）の登録および権限設定を行うことができる唯一のIDです。システム管理者がご利用可能なメニューは一部のメニューに限定され、システム管理者のみに開放されているメニューもあります。

●一般ユーザーとは …

通常のサービスを利用する為のIDです。通常の操作については一般ユーザーのIDを利用します。

<登録の流れ>



3章 ユーザー登録方法

(1) システム管理者IDの作成

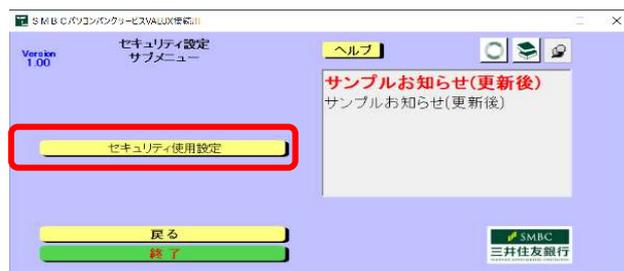
①初めてVALUX版を起動するとメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



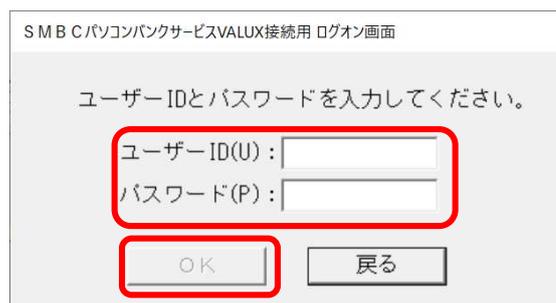
②「セキュリティ設定」ボタンをクリックしてください。メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



③「セキュリティ使用設定」ボタンをクリックしてください。

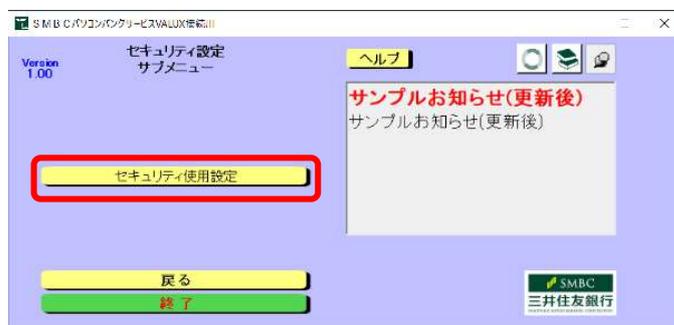


④ログイン画面が表示されます。当行よりお渡しのIDとパスワードをご入力の上、「OK」ボタンをクリックしてください。



3章 ユーザー登録方法

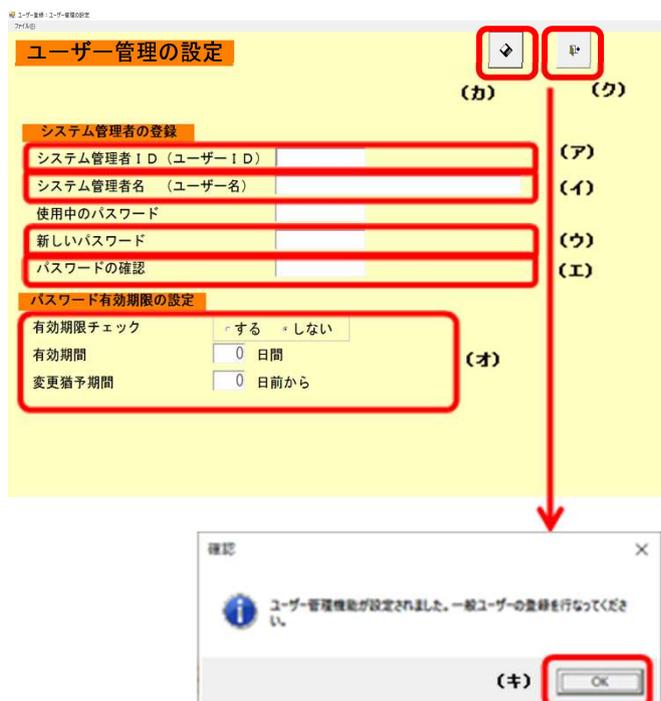
⑤「セキュリティ使用設定」ボタンをクリックしてください。



⑥「ユーザー登録」ボタンを押すとメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



⑦システム管理者を登録します。



(ア)システム管理者IDを6～10文字（半角）で入力してください。

(イ)システム管理者名を入力してください。「使用中のパスワード」は初期設定時入力不要です。

(ウ)これから使用するパスワードを4～10文字（半角）で入力してください。

(エ)確認のため (ウ) で入力したパスワードを4～10文字（半角）で入力してください。

(オ)【任意】パスワード有効期限の設定をしてください。

(カ)「保存」ボタンをクリックしてください。

(キ)確認画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。

(ク)「メニューへ」ボタンをクリックしてください。

以上でシステム管理者IDの登録は終了です。

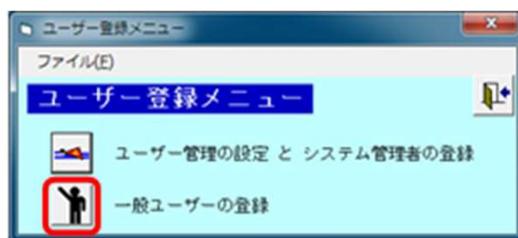
3章 ユーザー登録方法

(2) 一般ユーザーIDの作成

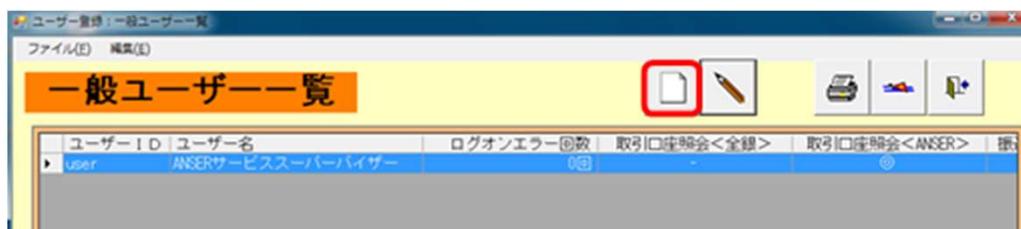
①システム管理者のIDでログインし、「ユーザー登録」ボタンをクリックしてください。



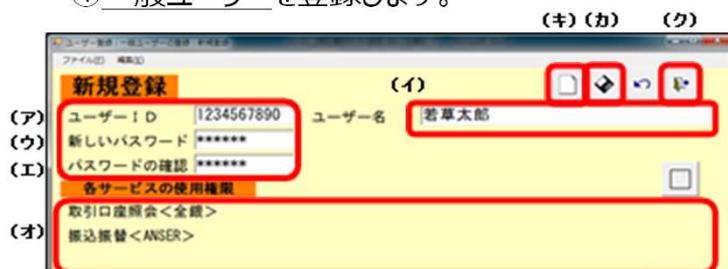
②「一般ユーザー」の登録ボタンをクリックしてください。



③「一般ユーザー一覧」の画面が表示されます。以下黒枠の「新規登録」ボタンをクリックしてください。



④一般ユーザーを登録します。



(ア)ユーザーIDを6～10文字（半角）で入力してください。

(イ)ユーザー名を入力してください。

(ウ)新しいパスワードを4～10文字（半角）で入力してください。

(エ) (ウ) で入力したパスワードを入力してください。

(オ)各サービスの使用権限を設定してください。

(カ)設定しましたら、「保存」ボタンをクリックしてください。

(キ)引き続き一般ユーザーの登録を行う場合は、「新規登録を続ける」ボタンをクリックしてください。

(ク)登録を終了する場合は、「メニューへ」ボタンをクリックしてください。

3章 ユーザー登録方法

※権限の詳細に関しては、操作マニュアル『セキュリティの設定』よりご確認ください。
(操作マニュアルのダウンロードについては、本マニュアルの『5章 操作マニュアルのダウンロード』をご参照ください。)

※「当行ソフト承認」をお申込の場合は、下記サービスの権限を設定してください。

- ・総合振込等、ご利用サービスの「合計報告」
(送信したデータの内容照会をご希望の場合は「照会」)
- ・暗証番号変更設定

以上で一般ユーザーの登録は終了です。

4章 電子証明書管理

VALUX版ご利用にあたり、電子証明書の取得が必要です。

本マニュアルを確認の上、ご対応をお願いいたします。

<注意>

- 実際の担当者にご利用いただくVALUX版がインストールされているPCで電子証明書をダウンロードする必要があります。
- VALUX電子証明書は、ダウンロード操作を行ったWindowsのサインインユーザーのみ利用可能です。よって担当者以外のWindowsのサインインユーザーで電子証明書のダウンロードを行った場合、そのサインインユーザー以外では利用できませんのでご注意ください。

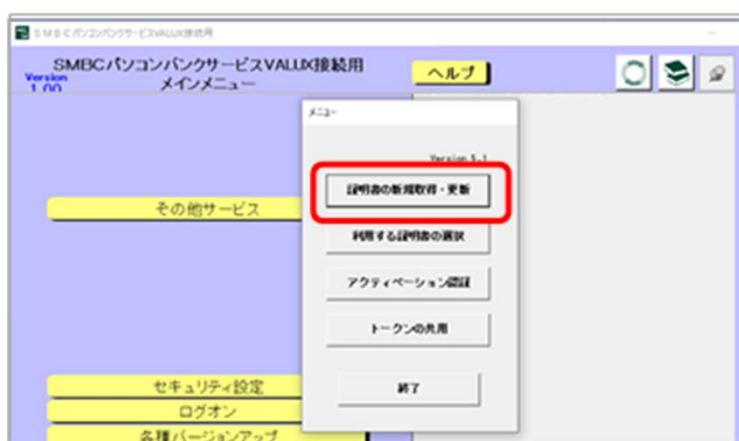
4章 電子証明書管理

電子証明書の新規取得・選択

①メインメニューから「電子証明書管理」をクリックしてください。



②『電子証明書メニュー』画面が表示されます。「証明書の新規取得・更新」をクリックしてください。



③「証明書の新規取得」ボタンをクリックしてください。



4章 電子証明書管理

④証明書の取得に必要な以下の情報をご入力頂き、「取得」ボタンをクリックしてください。

- ・企業ID／証明書ID／ワンタイムパスワード は事前にNTTデータから送付されるID通知書に記載の内容をご入力ください。
- ・パスフレーズ は、NTTデータへVALUXご契約時に申請の内容をご入力ください。
- ・証明書ニックネームは、取得した証明書の判別用のため内容の指定はございません。管理がしやすいようにわかりやすい名前をご入力ください。

証明書新規取得

証明書取得に必要な以下の情報を全て入力してください

追加済み証明書情報

企業ID

証明書ID

ワンタイムパスワード

パスフレーズ

※企業ID/証明書ID/ワンタイムパスワードは御社に郵送されたID通知書の内容をご入力ください。
また、パスフレーズは契約時に御社で申請した内容をご入力ください

追加登録情報

証明書ニックネーム

※証明書ニックネームは、取得した証明書を判別（識別）するために使用します。
本入力画面にて半角英数字文字～20文字で自由にご入力ください

取得 戻る

⑤「利用する証明書の選択」ボタンをクリックしてください。



⑥利用する証明書を一覧から選択して、「証明書の選択」ボタンをクリックしてください。

利用する証明書の選択

現在利用中の証明書

現在利用している証明書は、下記の証明書になります。

証明書ニックネーム	企業ID	証明書ID	サービス利用期間	証明書有効期限
VAL001				1/16 00:00

利用する証明書の選択

ご利用になりたい証明書を選択し、「証明書の選択」ボタンを押下してください

情報	証明書ニックネーム	企業ID	証明書ID	サービス利用期間	証明書有効期限
有効	VAL001				

証明書の選択

メニューへ戻る

4章 電子証明書管理

⑦「証明書選択の確認」画面の「OK」ボタンをクリックしてください。

正常終了のメッセージが表示されたら電子証明書の設定は完了です。

利用する証明書の選択

現在利用中の証明書
現在利用している証明書は、下記の証明書になります。

証明書ニックネーム	企業ID	証明書ID	サービス利用期間	証明書有効期限
VALID01				

利用する証明書の選択
ご利用になりたい証明書を選択し、「証明書の選択」ボタンを押下してください。

情報	証明書ニックネーム	証明書有効期限
有効	VALID01	2024/01/16 00:00

証明書選択の確認

選択した証明書を利用する証明書に変更しますか? (WS010050)

※「期限間近」と表示されている証明書 (証明書の有効期限が1日前に近づいた状態) は、サービス利用ができません。更新を行ってください。

※「期限切れ」と表示されている証明書 (赤色) は、VALUXセンター経由で提供されるサービスが利用できません。緊急証明書の更新を行ってください。

※「無効」と表示されている証明書 (灰色) は証明書有効期限を過ぎているため、全てのサービスが利用できません。

OK キャンセル

証明書の選択

メニューへ戻る

通信可能なポートやドメインを制限している場合、証明書の新規取得・更新、VALUX通信が行えない可能性があります。その際は以下のポート番号、ドメインを許可することをご検討ください。

【ポート番号】443 (プロトコル : https)

【ドメイン】

- ・VALUX 通信 : https://ebsrv.anser.or.jp
- ・証明書の新規取得 : https://crtget.nttdata-vnx.com
- ・証明書の更新 : https://crtchg.nttdata-vnx.com

5章 操作マニュアルのダウンロード

VALUX版の操作マニュアルは、ソフト内よりダウンロードが可能です。

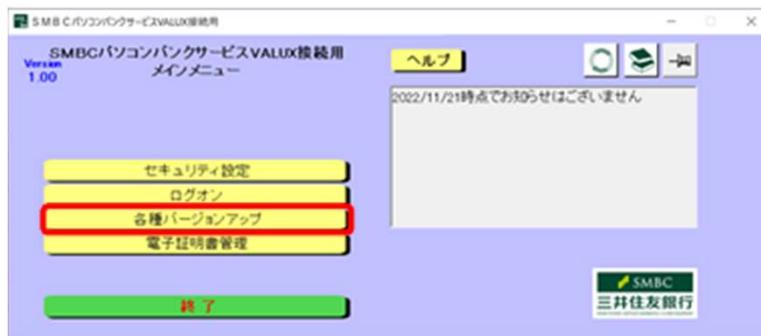
各種設定や操作要領に関しては、操作マニュアルをダウンロードの上、ご確認ください。

5章 操作マニュアルのダウンロード

操作マニュアルのダウンロード

①メインメニューより、「各種バージョンアップ」ボタンをクリックしてください。

※メインメニューの「各種バージョンアップ」より通信する際は「<https://smbc-dlserver.com>」の接続の許可が必要です。



②「操作マニュアル」ボタンをクリックしてください。メッセージが表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。



③②にて「はい」ボタンを押した後、＜バックアップ作成確認＞が表示されます。

バックアップを作成する場合：「はい」ボタンをクリックして、④に進んでください。

バックアップを作成しない場合：「いいえ」ボタンをクリックして、⑤に進んでください

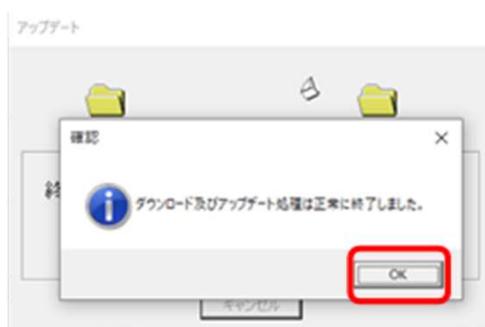


5章 操作マニュアルのダウンロード

④保存先を指定します。「参照」ボタンをクリックして保存先を指定し「OK」ボタンをクリックしてください。



⑤アップデートが始まります。＜確認＞が表示されましたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



⑥ダウンロードしたマニュアルについては、メインメニューの「ヘルプ」ボタンより、ご確認ください。



【別紙】ソフトインストール時のエラーについて

(1) - 1 .AccessRuntimeが未導入の場合

VALUX版の実施に必要なAccessRuntime がインストールされていない場合に、以下メッセージが表示されます。(1) - 2の手順にそってインストール^(※1)をしてください。



(※1) Officeバージョンに対して導入して頂くAccess Runtimeは下記の表をご覧ください。

Office バージョン	Office2021(32ビット版) Office2024(32ビット版) Microsoft365(旧称Office365)(32ビット版) ^(※2)	いずれのOfficeも 64ビット版では動作 しません。
Access Runtime	Microsoft 365 Access Runtime (32ビット版)	Officeなしの場合も Access Runtimeの インストールは必要です。

(※2) Microsoft365において、Accessインストール済の場合はAccess Runtimeは不要です。

【導入済みOfficeのバージョンの確認方法】

VALUX版を導入予定のパソコンにOfficeが導入されている場合、Officeのバージョン情報をご確認ください。以下はExcelを使った確認方法です。

- ①Excelを起動し、[ファイル]タブをクリックしてください。
- ②展開したメニューより「アカウント」をクリックします。
- ③『製品情報』画面が表示されますので、Excelのバージョン情報でバージョンを確認します。

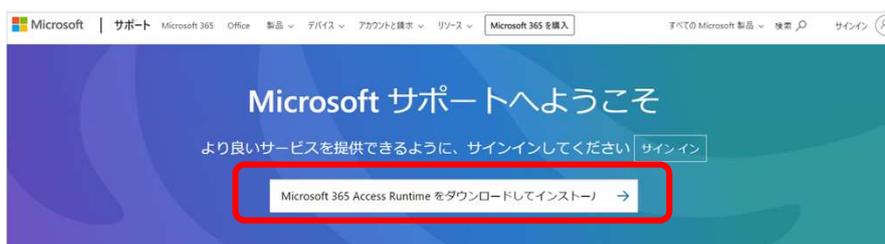
【別紙】ソフトインストール時のエラーについて

(1) - 2.Access Runtimeのインストール方法

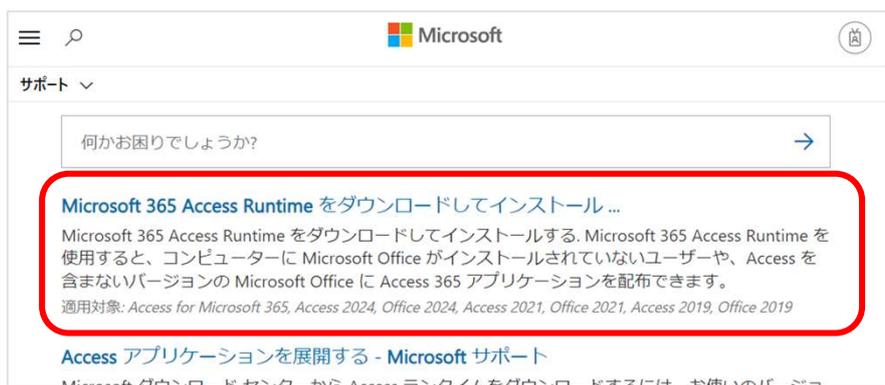
①以下URLをクリックし、マイクロソフト社のホームページにアクセスします。

URL: <https://support.microsoft.com/>

②「Microsoft 365 Access Runtime をダウンロードしてインストールする」を検索します。



③「Microsoft 365 Access Runtime をダウンロードしてインストールする」をクリックしてください。



④「必要な言語」を選択し、「32ビットのダウンロード」ボタンをクリックしてください。



⑤ダウンロードしたOfficeSetup.exeを実行します。

【別紙】ソフトインストール時のエラーについて

(2) - 1. .NetFrameworkが未導入の場合

VALUX版の実施に必要な「.NET Framework4.8」がインストールされていない場合に、以下メッセージが表示されます。(2) - 2の手順にそってインストールをしてください。

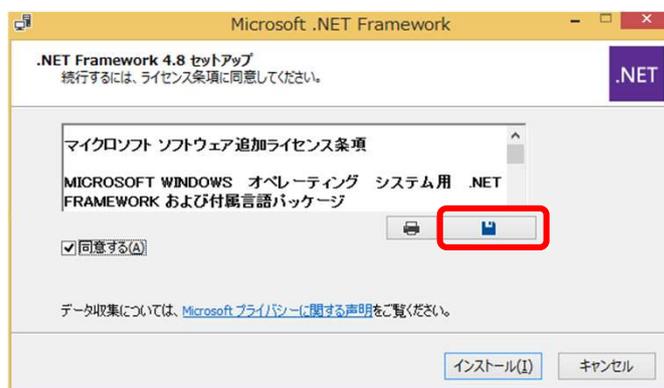


(2) - 2. .NetFrameworkのインストール方法

①『インストールメニュー』画面から、「.NET Framework4.8」ボタンをクリックしてください。



②「インストール」ボタンをクリックしてください。



③ダウンロードが成功するとインストールが開始されます。処理が完了すると「インストールが完了しました」のメッセージが表示されるので、「完了」ボタンをクリックしてください。

【別紙】ソフトインストール時のエラーについて

（３）ハードディスクドライブ以外のドライブを指定している場合

指定したドライブがハードディスクでない場合は、以下のメッセージが表示されます。

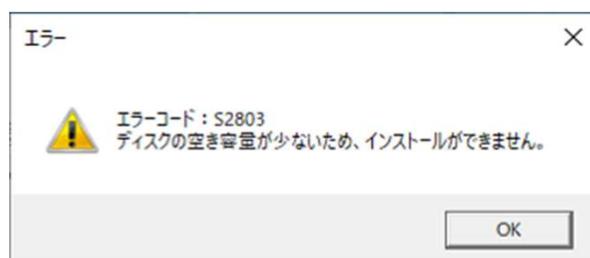
「OK」ボタンを押し、ハードディスクドライブを選択し直してください。



（４）容量不足の場合

ドライブの空き容量が足りない場合は、以下のメッセージが表示されます。

「OK」ボタンを押し、指定したハードディスクの空き容量が十分であるかどうかをご確認ください。



※Windowsが導入されているドライブとインストール先のドライブが異なる場合は、両方のドライブの空き容量をご確認ください。